

ともしび

第032号
発行
両毛病院
編集 広報委員会

院長通信

東日本大震災という1000年に一度と言われる自然大災害に伴う福島原発事故から、これからのエネルギーについて様々な問題があがっている。日本はこれまでにエネルギーの多くの部分を原子力に頼ってきたが、それに代わるものとして今、火力発電が次々に稼働しはじめている。それではCO2削減目標はどうなるのであろうか。

発電エネルギー産出を原子力や限りある化石燃料に頼らない方が良いことにしたことはない。今検討されているのはやはり自然エネルギーとして太陽光・水力・風力または地熱、潮流なども検討されている。またこれらのエネルギーの蓄電技術の開発も研究中であり期待したいところである。

中国の列車事故には驚いた。事故原因の究明と再発防止ということが最も大切であるにも関わらず、脱線した事故直後の列車を土中に埋めてしまった。報道された時は唖然としてしまった。中国の体質を世界に示したようなもので、世界中が呆れたのではないかと思う。列車を埋めて証拠をなくそうという心は誰の目にも明らかであり、そん

な稚拙な指示はどこから出されたのであろうか。中国の発展はめざましいが現在の中国全体の文化や思想に偏りと未熟さを感じる。中国国内ではこの列車の事故だけでなく他の場所でも、さらに多くの都合の良い証拠隠滅がなされている国なのではないかと信用できなくなる。

さて医療現場で働く者も、まずは日頃の誠実な対応を続けて、信用を得ることが大切であることは言うまでもない。当院において昭和45年6月、覚醒剤で措置入院中の患者さんによる放火の為、17人の尊い命が亡くなるという事故があった。当時の関係者から伝え聞いた話では、亡くなった患者さんの家族の中で日頃ほとんど面会になかった家族のお怒りは大きく裁判になった。しかし、たびたび甥の面会に見えていた家族は悲しみは深くお怒りの中でも当院に対して理解を示して下さった。ありがたいことだと思った。医療に対する私達職員の日頃の姿勢は大切である。誠実な対応を地道に重ねていく欲しい。そして今後も患者さんやその家族と同じ方向を向いた医療を提供し続けていきたいと思う。

第321号 院長 秋山 一郎

心と医療

両毛病院で働かせて頂くようになって、あっという間に2年以上が経過してしまいました。大病院ではなかなか味わえないたくさん貴重な経験をさせて頂いておりますが、いつも思うのがここはとにかく人が優しく誠実という事です。スタッフの皆様はすれ違ふと必ず笑顔で挨拶して下さいませし、どんな頼み事も嫌な顔ひとつせず引き受けて下さるので働いていて気持ち良いです。そして、どんな患者さんにも愛を持って接しているなど実感しています。

精神医学はとても深い分野だと思います。分からない事だらけですが、それだけ可能性を秘めているのだと思いますし、今後の発展を考えると楽しみです。いつまでも医学を志した時の初心を忘れないようにと考えておりますが、ここで皆様の優しさ・誠実さ「心」に触れていると、それを思い出させて貰っているような気がします。そのような事から、週1回ですが両毛病院に来る事が出来るのは幸運だと思いますし、感謝しております。

未熟な自分の力不足でなかなか治療が上手くいかない事も多々ありますが、皆様と手を取り合って乗り越えていければと思っております。もし御意見等あれば気軽に言って頂ければ幸いです。これからもよろしくお願致します。

医師 杉原 亮太

永年会員表彰

6月16日(木曜日)栃木県精神保健福祉センターにて、日本精神科看護技術協会栃木県支部主催による、第一回栃木県支部大会が開催されました。

大会は支部長挨拶から始まり、支部の前年度活動報告や今年度の運動方針そして役員選出などが行われました。また、永年会員の表彰式も行われ、当院の職員8名も受賞されました。

両毛病院入職が昭和54年と、32年の月日が過ぎました。入職から故秋山洋一先生や本多誠司先生より、患者さんの接し方や精神科看護の基本、患者さんのためを第一に考える事を教えて頂きました。院長先生、副院長先生においては、患者さんの地域医療と生活の質の向上を目標にされており、私もお役にたてればと思っております。今後とも院長先生、副院長先生をはじめ諸先生方、また諸先輩や皆様方のご指導とごべんたつをお願い致します。

看護師

お天気好転 レク大会

5月24日、毎年恒例のレクリエーション大会が行われました。当日心配された雨も朝には止んで、スポーツ日和となりました。最初のジャンケンゲームから盛り上がり、幸運のイス、パン食い競争とみなさん一生懸命でした。玉入れや綱引きでは紅白戦という事で、自分達のチームの応援合戦となり、とても盛り上がりました。休憩時間にはみなさんでお茶を飲み、フオークダンスでは患者さんと職員みんなで輪になって踊りました。どの競技もみなさん一生懸命で楽しそうな笑顔がとても印象的でした。

ケガをする人もなく、無事にレクリエーション大会を終える事が出来ました。私自身普段触れ合う事の少ない患者さん達と触れ合いが持て、とても楽しい一日を過ごす事が出来ました。

薬局アシスタント



童心に返ったカルタ大会

今年の1病棟のレクリエーションは一人でも多くの患者さんの参加と楽しい思い出作り、そして何よりも笑顔が見られる事を目標にしました。その1回目として、5月30日『カルタ大会』を行いました。

約30名の方が参加され、4グループを作り二回戦行いました。読み上げが始まると、一つの文字を探すその表情は真剣でみんな一生懸命でした。そんな中、カルタを取った患者さんの顔は一瞬『ニヤツ』とされ恥ずかしそうでもあり、また誇らしげでとっても嬉しそうでした。「次は取るぞっ」という気持ち、みんなの体を前へ前へと自然にだしてしまい「手がじゃま」とか「見えないよ」と会話されている姿がとても微笑ましく思いました。

カルタ大会の感想を聞くと「昔を思い出したよ」「面白かった」など話され、普段行事等あまり参加されない方も楽しそうに参加されて、私たち職員も楽しませて頂きました。

これからも第2回、3回と楽しいレクリエーションが出来るよう考えていきたいと思いました。

アシスタントNs

雨にも負けず親善ゴルフ

今年で4回目である両毛病院V.S足利富士見台病院との対抗ゴルフコンペが足利市にある城山カントリー倶楽部にて開催されました。この日の天気は台風が近づいていた事と梅雨前線が重なり朝から大雨になってしまい苛酷な条件の中プレイする事になってしまいました。地面はグチャグチャで打った打球も大雨のせいか距離がのびずに急降下と思い通りのプレイをする事が出来ませんでした。

結果は両毛病院の惨敗に終わりました。これで2勝2敗の五分になったので来年は必ず勝ちたいと思います。常に晴天の中でゴルフが出来れば最高なのですが、そうはいきません。今回のような大雨や雷、強風の中プレイをする事もあります。そんな苛酷な条件の中でも無理してやるのはゴルフが楽しいからです。

看護師



楽しかった、一泊旅行

毎年楽しみにしているデイケアの旅行。風景がきれいでホテルもきれいで、何よりも費用が安く、七千円台で泊まれるのでとても助かります。今回泊まったホテルは温泉も良く露天風呂も最高でした。浴衣も自分で選べ、女性にも人気のようでした。食事はバイキングで色々なものがあり目移りがするほどでした。寿司や天ぷら、フルーツやデザートまで食べられました。普段の仲間と行けるので気楽で、夜はカラオケで盛り上がりました。個人ではなかなか行けない旅行なので、来年も是非参加してみたいです。

実は、この日光霧降のホテルには、三年続けて来ているので、来年は海の見えるところがいいなあーと思っています。でも本当に楽しい旅行でした。

DCメンバー



委員会活動報告

環境整備・エコ委員会

『両毛病院のエコ対策』

当院は事業活動で生じる温暖化効果ガス(二酸化炭素)排出と資源の有効利用を地球環境の重大問題としてとらえ、他に先駆けて地球温暖化防止対策の『エコ委員会』を平成20年に設けました。委員会はエコ活動が定着できるように具申し、実施して行くものであり、また、快適な入院生活を過ごせるよう施設の安全・衛生・美化に配慮し、環境整備活動を実施していくものです。

これまでのエコ委員会の活動は、省エネ型(節電・節水・リサイクル)スタイルを主とした『無駄をなくし、もったいないという心』の意識改革を行い、これを定着できるようにできるものから取り組んできました。

今日に至っては『地球温暖化防止対策推進』を目的に事業所単位で環境重視のエコ活動が発展して義務化されてきました。

これらの状況を踏まえ、当病院でも取り組んで行かなければならないことから『環境整備・エコ委員会の基本方針』に基づき、環境を重視したエコ活動が病院全体に普及、定着できるよう努めて行きたいと思っています。

基本方針

地球温暖化防止対策、CO2(二酸化炭素)排出減を目的とした先進国人としての自覚向上を図っていく。

病院としてできる様々なエコ活動が、ひいては地球温暖化防止対策となるよう考慮し活動していく。

限りある資源を大切にす資源の有効利用と、浪費(省エネ)をおさえた還元利用を図っていく。

病院内外の緑化整備(花壇や木々の植栽)を循環的に行い、CO2(二酸化炭素)削減効果に貢献して行く。また、患者さんや職員的心が和みリフレッシュ出来るような環境整備の充実を図る。

3月11日、東日本の多くの地域に甚大な被害をもたらした『東日本大震災』その影響により、電力の安定的な供給が困難になっています。当院では照明の一部消灯やエアコンの設定温度を28℃に心掛け、扇風機等を併用し節電に努めています。

過度な取り組みにより体調を崩さないよう注意しながら『できることから実践していく』そんな一人一人の小さなアクションが大きな節電につながります。

皆様のご協力をお願い致します。

看護師

将棋大会

一回戦で優勝候補の人とあたってしまい、負けてしまった。前半は押していたが、相手も実力者なので後半押し返されてしまったと思います。敗者復活戦では、順調に勝ち進み、決勝戦までいったが負けてしまった。でも両毛病院の将棋メンバーは皆良いたところまでいってよく頑張ったと思います。

又、大会中あじさい喫茶が出店していたのでアイスコーヒーを飲み、リフレッシュした気持ちで将棋に臨めたのでとてもありがたかったです。将棋の会が両毛病院で始まって以来長い期間がたっています。みんな最初はあまり将棋が出来ず、駒を動かせる程度でしたが、週に一度集まって練習をしているので、将棋のメンバー全員が上手くなって成長してきていると思います。

DCメンバー



笑顔でハイタッチ

去る6月24日、職員リフレッシュ委員会企画によるボウリング大会が両毛ゴールドレーンにて行われました。大会開始前には、院長が会場に駆け付けて、激励のあいさつを下さいました。それにより、みなさん、より一層やる気を掻き立てられたと思います。

試合が始まると、みなさん笑顔になりながらも、投げる時には真剣そのもの。最初はみなさん、ボールが端にいつてしまつ光景をよく見かけましたが、時間の経過と共にストライクやスペアを取る人達が増えてきました。各レーン、笑顔でハイタッチする光景も沢山見られました。試合後には、みなさん若干疲れの表情が見られましたが、きつと心地好い疲れだったに違いありません。

看護師



【外来診療のご案内】

診療科目 精神科・内科
受付時間 午前 8:45 ~ 11:30
診療時間 午前 9:00 ~ 12:30
 (専門外来 毎週水曜日 午後 2:00 ~)

- * 外来診療 月~金・第3土曜日(第1・2・4土曜日の診療は、電話にてお問い合わせ下さい。)
- * 外来診療は予約制になっておりますので、初診の方も事前にご予約をお願い致します。

外来担当医師表

	初診・当日受付	予 約 再 診	予 約 再 診
月	岡安 寛明	秋山 伸恵	高山 晃司
火	秋山 伸恵	秋山 一郎	山本 卓二
		秋山 佳子 2	
水	岡安 寛明	中村 晃司 1	秋山 伸恵
	秋山 佳子		
木	山本 卓二	秋山 一郎	杉原 亮太
金	高山 晃司	秋山 伸恵	
土	岡安 寛明	岡安 寛明	

1 児童・思春期・発達障害専門外来
 毎週水曜日の午後に行っています。
 18歳未満で下記のようなお子さんが対象になります。
 情緒不安定・不登校・問題行動がある・幼稚園、保育園、小学校などで発達障害を指摘されたなど、診察を希望される方は、電話にてご予約下さい。

2 内科診療外来
 毎週火曜日 秋山佳子医師

【交通のご案内】

- * 自動車でお越しの方
 佐野田沼IC(北関東自動車道)より5分
 佐野藤岡IC(東北自動車道)より15分
- * 電車でお越しの方
 佐野駅(JR・東武)よりタクシーで5分
 堀米駅(東武)より徒歩7分

【編集後記】

夏本番が到来し、暑さもピークを迎えようとしております。今年には節電の必要性が今まで以上に訴えられており、冷房の温度を高め設定する方も大勢いらっしゃると思います。となると恐ろしいのが熱中症です。影響を受けやすい子供や年配者の方だけではなく、普段健康な方も水分補給をまめに、直射日光を避けるなどの対策を心がけてください。

医療法人 秋山会

R 両毛病院

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町1648
 TEL 0283-22-6150 FAX 0283-21-6159
 ホムページアドレス <http://www.ryoumoubyouin.jp/>
 <広報委員会>

